

No. 6-2

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 06 - 2

<b>事業分類</b>		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		<b>公的関与</b>		1		<b>作成日</b>		26年 6月 13日		
<b>事務事業名</b>		一般ごみ収集事務						<b>シート作成部署</b>				
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>基本施策</b>	4 快適なまち						<b>課名</b>	環境資源課		<b>係名</b>	
		4-1 環境と共生するまちをつくる							<b>シート作成者</b>			
	<b>施策</b>	4-1-1 循環型社会の形成						<b>予算費目</b>	<b>会計</b>		一般	
		① ごみ収集・処理体制の充実							<b>款</b>		4	
<b>主要施策</b>							<b>項</b>		2			
							<b>目</b>		1			
<b>個別計画名</b>												
<b>住民との関わり</b>		特になし										
<b>事業の対象・目的・内容</b>	<b>対象（誰を、何を）</b>				<b>目的（どういう状態にしたいのか）</b>							
	住民				ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。							
	<b>事業内容（どのような方法で、何を行うのか）</b>											
<p>一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを委託業者により収集する。          平成25年度 可燃ごみ 4,033 t 不燃ごみ 176 t プラスチックごみ 264 t          一般ごみ収集委託料 30,308,250円 一人当たり 14,499円</p> <p>25年度桑名広域清掃事業組合負担金(建設分) 116,832,000円          (管理分) 225,808,000円</p>												
<b>事業期間</b>		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 (年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
<b>根拠法令・要綱等</b>		廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
		<b>平成24年度（決算）</b>			<b>平成25年度（決算）</b>			<b>平成26年度（予算）</b>				
<b>全体事業費（千円）A+B</b>		365,760			390,328			396,064				
<b>財源内訳</b>	<b>国庫支出金</b>		0			0			0			
	<b>県支出金</b>		0			0			0			
	<b>地方債</b>		0			0			0			
	<b>その他特定財源</b>		0			14,198			12,745			
	<b>一般財源</b>		364,242			374,612			381,801			
<b>直接事業費（千円）A</b>		364,242			388,810			394,546				
<b>人件費（千円）B</b>		1,518			1,518			1,518				
<b>内訳</b>	<b>一般職員（人・千円）</b>		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518			
	<b>臨時職員（人・千円）</b>		人 0		人 0		人 0		人 0			
<b>成果指標</b>	<b>成果指標名</b>				<b>単位</b>		<b>25年度</b>		<b>26年度</b>		<b>27年度</b>	
							<b>目標</b>		<b>実績</b>		<b>(目標)</b>	
<b>説明</b>		ごみ分別やりサイクル事業の啓発をより一層行い、ごみに対する住民意識の向上を図る。										

事業名	一般ごみ収集事務	シート作成課	環境資源課
-----	----------	--------	-------

一次評価者	環境資源課	二次評価者	生活福祉部長
-------	-------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ごみの分別収集やリサイクルは、今後もより一層きめ細やかに実施していく必要があります。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民のごみの分別・リサイクルの意識向上を図ることにより、ごみ減量化が期待できます。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ごみの出し方については、概ね適切に排出されています。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	委託することにより、人件費の削減・業務の迅速化が図られ、住民サービス向上が期待できます。

**本事務事業の実施適切性の説明**

ごみ分別やリサイクル事業の啓発をより一層行い、ごみに対する住民意識の向上を図ります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	平成29年度以降のRDF焼却・発電事業については県が事業主体となって32年度まで継続が決まったのを受けて、33年度以降のごみ処理について検討を進めます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	機会あるごとにごみ総量の減量、分別のPRが必要。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--